

市内の大気の汚れはどうか——。市は県と協力して市内7カ所に亜硫酸ガスの自動記録計を設置し、昭和43年から測定を行なっています。このほど、昭和44年7月から45年6月までと、昭和45年7月から46年6月までの結果がまとまりました。測定結果をみると、環境基準のすべての条件を満しているのは大淵中学校だけでした。しかし、汚染濃度は年ごとに減少しています

亜硫酸ガスは年ごとに減少

風向の影響によつて 元中、保健所は 冬季に高濃度が出現

測定結果によると、厚生省が定めた環境基準の4条件をすべて満しているのは7測点のうち大淵中学校だけです。他の測点は、吉原第三中学校、勤労青少年会館、富士中学校が3条件を満たし、鷹岡中学校は2条件を、富士保健所と元吉原中学校は1条件を満しているだけです。

特に、1日の平均値が0.05 P P m以下の日数（環境基準は70%以上）は、大淵中学校を除く各測点で大幅にこえています。そのうち、富士保健所は32.7%と前年より悪く、もつとも低い数値を示していますが、吉原第三中学校、勤労青少年会館、富士中学校は前年に比べ大幅に改

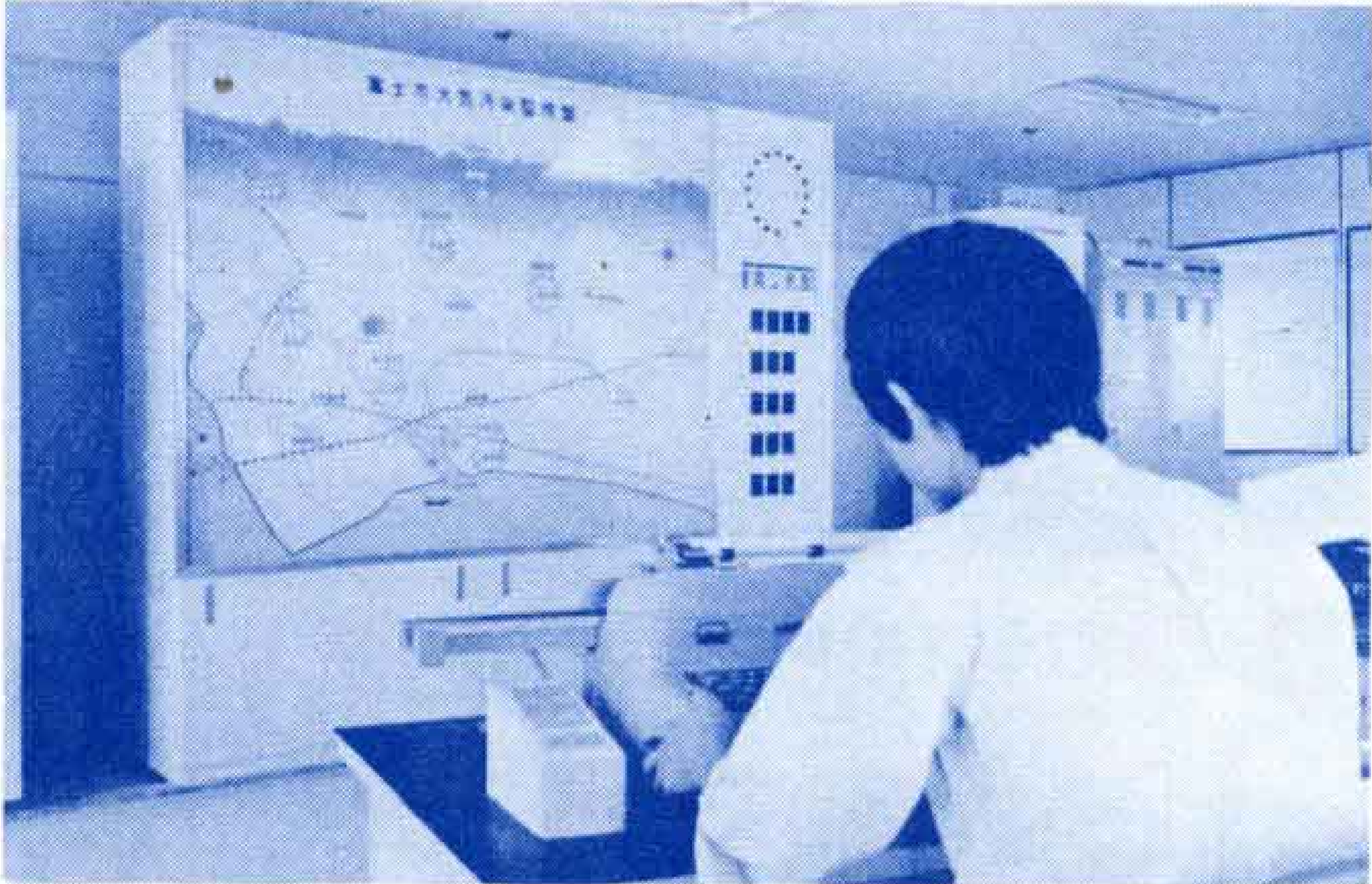
善されています。

このほか、測点結果を環境基準と比較すると、汚染濃度は年ごとに減少しており、「1日平均0.05 P P mの日数70%以上」を除き、環境基準の達成に大きく前進しました。

なお、気象条件からみると、気温の低下や逆転層などによつて、冬季に高濃度が出現すると考えられます。しかし月別にみると富士市の場合は風向による影響が大きく、元吉原中学校と富士保健所を除き、夏季に高く冬季に低い数値を示しています。

また、4月から6月までの3カ月間の測定結果をみると、富士保健所が0.050

P P m（前年同期0.069）、吉原第三中学校が0.052 P P m（同0.064）、勤労青少年会館が0.056 P P m（同0.061）、元吉原中学校が0.052 P P m（同0.055）、富士中学校が0.051 P P m（同0.059）、鷹岡公民館が0.054 P P m（同0.049）、大淵中学校が0.029 P P m（同0.032）となつており、元中、富士保健所、勤労青少年会館は前年同期と比べ大きく減少を示していますが、鷹岡公民館は逆に高くなつています。



イオウ酸化物の測定結果

測定場所	測定期間	測定日数	総時間数	1時間値 の 期間平均	0.1 P P m以下の 時間数	同左(%)	0.2 P P m以下の 時間数	同左(%)	1日平均 が0.05 P P m以下の 日数	同左(%)
富士保健所	44.7~45.6	291	6410	0.063	5270	82.2	6372	99.4	107	36.8
	45.7~46.6	352	7942	0.058	7180	90.4	7841	98.7	115	32.7
吉原第3中学校	44.7~45.6	359	8122	0.068	6689	82.3	8002	98.5	82	22.8
	45.7~46.6	360	8254	0.048	7706	93.3	8225	99.6	221	61.4
勤労青少年会館	44.7~45.6	354	8110	0.052	7556	93.2	8096	99.8	169	47.7
	45.7~46.6	360	8354	0.048	7830	93.7	8333	99.7	213	59.2
元吉原中学校	44.7~45.6	323	7431	0.067	5487	73.8	7323	98.5	109	33.7
	45.7~46.6	343	7858	0.059	6779	86.3	7841	99.8	119	34.7
富士中学校	44.7~45.6	340	7900	0.052	7299	92.4	7889	99.9	162	47.6
	45.7~46.6	352	8110	0.049	7538	92.9	8101	99.9	197	56.0
鷹岡公民館	44.7~45.6	339	7623	0.049	7265	95.3	7620	99.9	166	49.0
	45.7~46.6	361	8502	0.053	7974	93.8	8492	99.9	160	44.3
大淵中学校	44.7~45.6	195	4449	0.029	4359	98.0	4446	99.9	174	89.2
	45.7~46.6	359	8204	0.026	8114	98.9	8202	99.9	333	92.8
環境基準	1年間	365	8760	0.050		88%以上		99%以上		70%以上